



学校だより 2月

平成31年1月31日 横浜市立芹が谷南小学校

「つながる食育」を視野に ～学校食育の取組～

学校長 高木 篤子



毎日、お子さんは、給食を楽しみにしていますか。元気に食べて、楽しく食事をしていますか。食を取り巻く環境が変化し、子どもの食に関する課題も多様になってきています。その中で、文部科学省では、学校において地域の生産者や関係機関等とも連携しつつ、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながるように、「つながる食育」を推進しています。

そこで、食育に関わる本校の取組を「つながる」という視点からご紹介いたします。

<教科等の学習とつながる>

1年2組 門脇級では、国語科の話す・聞く学習と食育をつなげて、「野菜クイズ大会をしよう」という授業を構想し、港南区学校食育研究会で公開しました。日々、給食に使われている野菜について話を聞いたり、実際に野菜を触って観察したりしながら、野菜に親しみをもつようにしました。授業では、自分たちが作った野菜クイズを友達と対話しながら出し合い、互いに野菜への関心を高める姿が見られました。

<地域の生産者とつながる>

3年2組 戸田級では、総合的な学習の時間「まちのすてき PR 大作戦」の一環として、給食に使う野菜の生産者である地域の若林さんとの出会いを通して、自分たちが食べているものには、多くの人の思いが込められていることに気付き、感謝の心をもつ子どもの姿を目指しました。学区の若林さんの畑を見学させていただいたり、授業でお話を伺ったりしました。子どもたちは学んだことを給食「ぱくぱく便り」にまとめ、各学級に配布することをめあてに取り組んでいます。

<児童会活動でつながる>

1月の給食週間に、給食委員会の児童が集会を行いました。事前に調理員さんや栄養士さんにインタビューしたことをクイズ形式で伝えました。児童は、調理員さんが朝早くから夕方までお仕事をしていること、手首まで何度も手洗いをすること、食器を一枚ずつ細かく洗っていることなどを知りました。各学級では、代表委員会での提案を基に、感謝の気持ちを伝える取組を行っています。

<給食試食会・給食交流会でつながる>

PTA 活動では、6月に学年委員会が中心となって給食試食会を行いました。担当の方々が事前に細やかに準備や計画をされて、保護者の方に給食を味わっていただくとともに、給食に関してご理解いただけるように栄養士・栄養教諭が説明いたしました。

2月末には、「学援隊の方々へ感謝の気持ちを伝える会」を行い、その折に学援隊の方々に子どもたちと給食をご一緒していただきます。楽しい会食のひとつとなれば幸いです。

「よこはま学校食育財団」のホームページを開くと、給食に関する様々な情報を得られます。その中の「食育ひろば」に「作ってみよう！給食の献立」も掲載されています。ご家庭でも給食の味をお試しになり、食事についてご家族で話題にさせていただくのはいかがでしょうか。